

令和4年度 第3回大農事組合長会議次第

開催日時及び場所

| 日 時 | | 対象地区 | 会 場 |
|------------|----------|---------|------|
| 12月 7日 (水) | 午前10時30分 | 鞍手地区 | 鞍手支所 |
| | 午後 1時30分 | 宮田地区 | 宮田支所 |
| 12月 8日 (木) | 午前10時30分 | 直方・小竹地区 | 本 所 |
| | 午後 1時30分 | 若宮地区 | 若宮支所 |

【1】開会のことば

【2】あいさつ

【3】説明事項

1. 地域水田（再生）農業推進協議会からの連絡
2. 行政からの連絡
3. 営農生活課からの連絡
 - (1) 令和4年産米について
 - ①令和4年産 水稻の概況 P 1・2
 - ②令和4年産 米集荷・検査実績表 P 3
 - ③令和4年産米概算金振込・検査格付通知書配布のお願い . . . P 4
 - ④レンタルパレットの返却について P 4
 - ⑤令和4年産米の出荷について P 5
 - ⑥令和5年産米の出荷契約について P 5
 - (2) 肥料価格高騰対策事業（春肥の申請）について P 6・7・8
 - (3) 令和5年産米について
 - ①令和5年度 JA直鞍の喜ばれる米づくり運動方針 P 9
 - ②令和5年産 水稻品種別作付誘導方針 P 9
 - ③令和5年産 稲作ごよみの変更点について P 10
 - (4) 「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について P 11・12
 - (5) 令和4年度賦課金の徴収報告について
令和4年11月25日に引き落としさせていただきました。
 - (6) 令和4年度農事組合長手当の振込について
令和4年12月末頃にお振込みをさせていただきます。
 - (7) 「日本農業新聞」・「家の光」のご購読について P 13・14
 - (8) その他
4. 経済農機課からの連絡 別冊
 - (1) 令和5年産水稻苗注文の価格変更及び水稻育苗申込書 P 1・2
 - (2) 令和5年度水稻病害虫防除剤及び除草剤の使用方法について . . . P 3
 - (3) 令和5年産水稻種子・肥料・農薬、除草剤、
土壌改良材、果樹苗木の注文 P 4～P 9
 - (4) その他

5. 総務課からの連絡
 - (1) 役員候補者、役員推薦会議委員候補者の選出及び総代候補者の推薦について
 - (2) その他
6. その他

【4】閉会のことば

【提出書類】

《提出先 各グリーンセンター・営農センター》

- ◎令和5年産水稻苗注文書
- ◎令和5年産水稻種子注文書
- ◎令和5年産水稻肥料注文書
- ◎令和5年産水稻農薬注文書
- ◎水稻除草剤（大型規格）注文書
- ◎土壌改良剤・果樹苗木の注文書

提出締切日 : 令和5年 1月10日 (火)

(1) 令和4年産米について

①令和4年産水稻の概況

令和4年11月30日
JA直轄 営農生活課
飯塚普及指導センター

○生育概況

【早期】(～5/15)

- ・田植え
4月10日頃から開始され、4月19日～4月24日が中心であった。
- ・生育
田植え後は、天候に恵まれたため活着がよく、順調に生育した。5月の降水量が極端に少なく、一部で干ばつの被害が発生した。生育中期に干ばつとなったが、7月上中旬の降雨によって解消し、気温と日照量に恵まれたため穂数、籾数が平年に比べやや多くなった。
- ・病虫害等
病虫害は、出穂期以降にカメムシ類が多発し、斑点米が多かった。ウンカ類は、被害はなかった。いもち病、紋枯病についても、被害はなかった。
- ・出穂期
平年より7日程度早かった
- ・収穫
出穂期が早かったため、収穫期も早くなった。
- ・収量
平年よりやや多かった。
- ・品質
平年並。白未熟粒やカメムシ類の被害が多かった。同一穂内での熟れムラが大きかったことからやや刈遅れ、茶米の発生により、品質が低下した。JAふくおか嘉穂管内では、イネカメムシの多発により、3等となった地域があった。
- ・総評
一部では用水不足による干害があったものの、全体的には大きな問題はなく、平年よりやや多収であった。

【普通期】(5/16～)

- ・田植え
最盛期は5月25日～6月15日。降雨が少なく、用水不足により一部の地域で田植えが遅れ、苗の老化によって田植え後の活着が悪かった。
- ・生育
田植え後、気温と日照量に恵まれたため穂数、籾数が平年に比べやや多くなった。
- ・雑草・病虫害等
用水が不足した地域では、田面が露出した期間が長くなったため、初中期除草剤の効果が安定せず、イネ科雑草を中心に雑草害が発生した。
8月中旬から紋枯病の多発、8月下旬から穂いもちが発生し、「夢つくし」「元気つくし」

を中心に坪枯れ、登熟不良がみられた。二つの台風(9月6日の台風11号、9月17～18日の台風14号)の影響により、「元気つくし」以降の熟期の品種を中心に登熟不良が見られた。

生育期間を通じて、カメムシ類の発生が非常に多かった。JA直轄地域ではホソハリカメムシ、JA嘉穂ではイネカメムシが多かった。

- ・出穂期
平年に比べ2日程度早かった。
- ・収穫
同一穂内での熟れムラが大きかったことから、やや刈遅れがあった
- ・収量
「夢つくし」は平年よりやや多収だったが、「元気つくし」以降の熟期の品種では、紋枯病、いもち病、台風の影響で屑米が多くなり、平年よりやや低収となった。
- ・品質
「夢つくし」は9割以上が白未熟粒、充実不足により2等の格付けとなった。「元気つくし」は約4割が充実不足、白未熟粒により2等の格付けとなった。
- ・総評
品種やほ場によって収量・品質に差があった。8月中旬以降に病気が発生し、9月に台風が通過したこともあって、「元気つくし」以降の熟期の品種では、収量が平年よりやや少なかった。

○次年度以降の留意点

老化苗による植付後の生育不良が発生しているため、20日苗を基本とし、田植予定日から逆算して播種する。

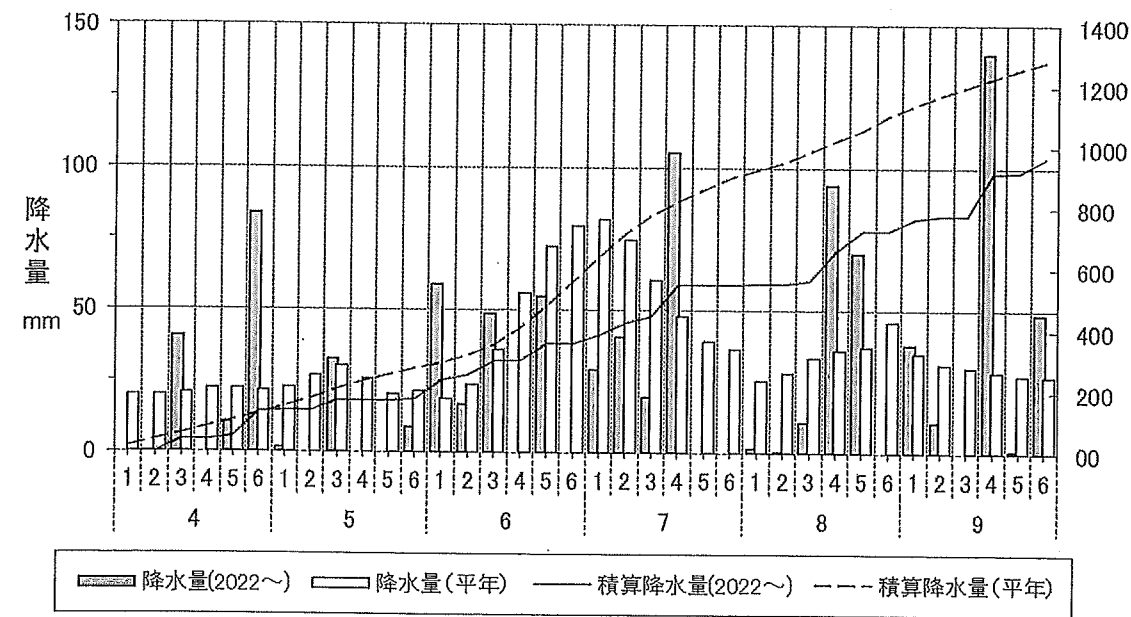
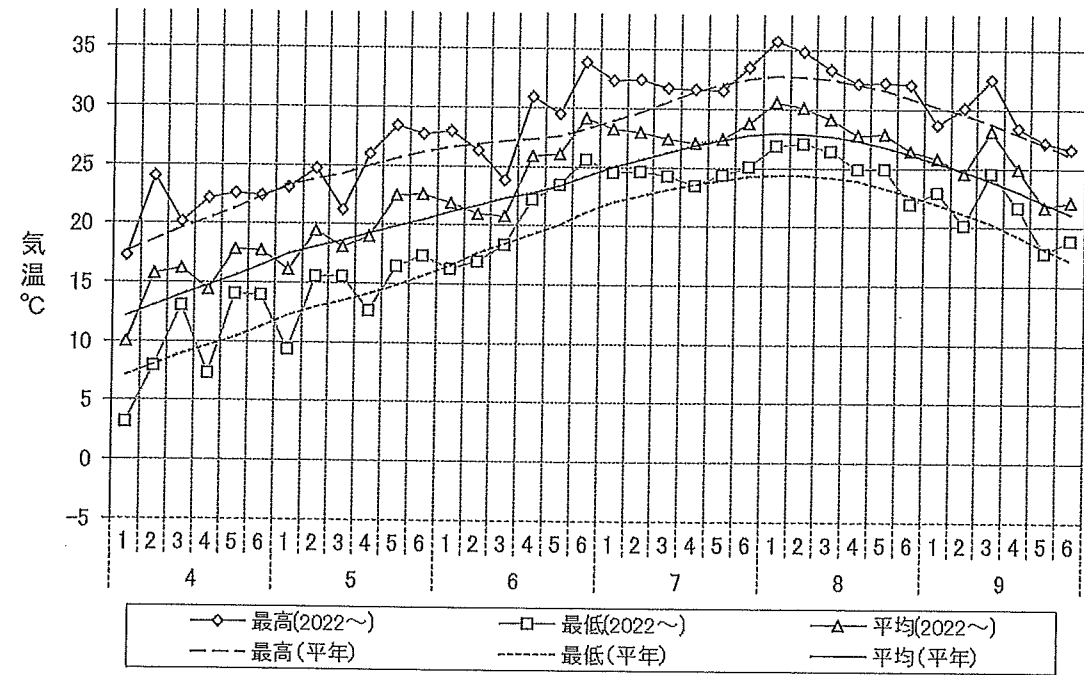
収穫期に雑草が残ったほ場は種子が落ちて、次年度以降、雑草が生える可能性が高いため、初中期除草剤だけでなく、中期除草剤の散布も検討する。また、中期除草剤を散布する場合は、使用時期が遅くならないようにする。

高温年が多く、紋枯病の被害が大きくなっている。紋枯病対策の成分を含有している箱施薬剤の散布や本田防除を徹底し、病気の蔓延を防止する。

近年、イネカメムシの被害が拡大している。イネカメムシは従来のカメムシ類と異なり、多発すると不稔籾を生じ、収穫不能になる可能性がある。今年度は主にJAふくおか嘉穂管内での被害が目立ったが、次年度以降は他地域へ被害が拡大する恐れがあるため、警戒が必要である。

○気象概況

本年の梅雨入りは6月11日、梅雨明けは7月19日と非常に梅雨の期間が短かった。
 生育期間を通じて高温だった。また、降水量が少なく、8月の出穂時期時点で、積算降水量が平年の6割程度となった。



②令和4年産 米集荷・検査実績表(主要品種)

2022年11月24日 現在

JA米・加工米集荷実績

単位:俵

| | 品種 | コシヒカリ | | | | 夢つくし | | | | 元気つくし | | | | ヒノヒカリ | | | | その他うるち米 | | | | ヒヨクモチ | | | | 合計 | | |
|-----|-------|-------|----|-------|----|-------|---------|----------|---------|----------|---------|---------|------|---------|---------|---------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|----|----|------|-------|-------|----------|
| | | 等級 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | | 小計 | |
| JA米 | R3年 | | | 149.0 | | 149.0 | 2,907.0 | 18,746.0 | 1,518.5 | 23,171.5 | 2,208.5 | 1,599.0 | 52.0 | 3,859.5 | 1,767.0 | 2,099.0 | 141.5 | 4,007.5 | 127.0 | 99.5 | 28.0 | 254.5 | | | 5.5 | 130.0 | 135.5 | 31,577.5 |
| | R4年 | | | 165.0 | | 165.0 | 1,917.5 | 22,254.5 | 3,982.0 | 28,154.0 | 2,557.5 | 1,937.0 | 82.0 | 4,576.5 | 644.0 | 2,371.5 | 120.5 | 3,136.0 | 30.0 | 232.0 | 161.0 | 423.0 | | | 37.5 | 59.0 | 96.5 | 36,551.0 |
| 加工米 | R3年 | | | | | | 4.0 | 118.0 | | 122.0 | 4.5 | | | 4.5 | 43.0 | 130.5 | 10.5 | 184.0 | | | | | | | | | 310.5 | |
| | R4年 | | | | | | | 33.0 | 49.0 | 82.0 | | | | | 41.5 | 92.5 | | 134.0 | | | | | | | | | 216.0 | |
| 合計 | R3年 | | | 149.0 | | 149.0 | 2,911.0 | 18,864.0 | 1,518.5 | 23,293.5 | 2,213.0 | 1,599.0 | 52.0 | 3,864.0 | 1,810.0 | 2,229.5 | 152.0 | 4,191.5 | 127.0 | 99.5 | 28.0 | 254.5 | | | 5.5 | 130.0 | 135.5 | 31,888.0 |
| | R4年 | | | 165.0 | | 165.0 | 1,917.5 | 22,287.5 | 4,031.0 | 28,236.0 | 2,557.5 | 1,937.0 | 82.0 | 4,576.5 | 685.5 | 2,464.0 | 120.5 | 3,270.0 | 30.0 | 232.0 | 161.0 | 423.0 | | | 37.5 | 59.0 | 96.5 | 36,767.0 |
| | 1等米比率 | | | | | | 7% | | | | 56% | | | | 21% | | | | 7% | | | | | | | | | 14% |

JA米・加工米支所別出荷数量

| 支所名 | 頓野支所 | | | | 新入支所 | | | | 宮田支所 | | | | 若宮支所 | | | | 鞍手支所 | | | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|----|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|----------|---------|---------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|--|--|--|------|--|--|--|--|--|------|
| | 年産 | 等級 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | 1等 | 2等 | 3等 | 小計 | | | | | | | | | | |
| R3年 | | | 157.0 | 518.0 | 170.5 | 845.5 | 813.0 | 2,104.5 | 61.5 | 2,979.0 | 1,292.5 | 4,772.0 | 776.5 | 6,841.0 | 2,326.5 | 6,695.5 | 322.5 | 9,344.5 | 2,472.0 | 8,856.5 | 549.5 | 11,878.0 | 7,061.0 | 22,946.5 | 1,880.5 | 31,888.0 | | | | | | | | | | |
| R4年 | | | 163.5 | 1,069.5 | 205.5 | 1,438.5 | 509.5 | 3,198.0 | 166.5 | 3,874.0 | 1,036.5 | 6,048.0 | 983.0 | 8,067.5 | 2,843.0 | 7,405.5 | 840.0 | 11,088.5 | 638.0 | 9,402.0 | 2,258.5 | 12,298.5 | 5,190.5 | 27,123.0 | 4,453.5 | 36,767.0 | | | | | | | | | | |
| 前年比 | | | | | | 170% | | | | | | 130% | | | | | | 118% | | | | | | 119% | | | | | | 104% | | | | | | 115% |

主な格付理由

- ・充実度
- ・心白粒
- ・被害粒
- ・部分カメムシ

③令和4年産米概算金振込・検査格付通知書配布のお願い

寒冷の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和4年産の米の検査につきましては、おかげをもちまして終了致しました。

今年は、8月中旬以降に病気が発生し、9月に台風が通過したこともあって、元気つくし以降の熟期の品種では、収量がやや少なかったが、作況指数が102と、「やや多い」の結果となりました。

つきましては、J Aに米を出荷いただいた方へ個別に米の概算金振込通知書及び検査結果格付通知票を同封していますので、各小組合長へ配布いただきますようお願い申し上げます。

※格付通知票は、令和4年8月～11月の検査分を同封しています。

以上

ご質問・お問合せは下記まで
J A直轄 営農センター
TEL 32-3755
担当 稲垣、浦邊

④レンタルパレットの返却について

令和4年産の米入庫時に貸出致しましたレンタルパレット

(UPR) 木製13型の返却が遅れております。

レンタルパレットのリース料は、1か月1枚当たり約270円の経費が掛かっております。各倉庫において返却・出庫・はい付け等でパレット数量が集まり次第、随時返却しておりますので、まだご返却がお済みでない方は、営農センターまで至急ご連絡の上、ご返却して頂きますようよろしくお願い致します。

尚、破損・紛失については、1枚当たり5,000円頂く場合がございます。

ご連絡先

営農センター 0949-32-3755

担当 稲垣・浦邊

⑤令和4年産米の出荷について

予定していました令和4年産米の入庫については、おかげをもちまして全て終了致しました。これより販売に向け準備を進めてまいりますが、これから出荷を検討されている方は、令和4年産米の出荷の期日を下記のとおりとさせていただきますので、期日までに出荷されるようお願いいたします。なお、期日以降の出荷については可能ですが、共同計算には含めずに都度販売を行いますので、現在通知しております概算金価格での支払いはなくなり、出荷の都度販売を行った精算金のみの支払いとなります。

記

1. 出荷期日 令和4年12月23日（金）まで
2. 概算金 期限内の出荷分は現在通知している概算金での支払い
3. 期限以降の出荷 出荷は可能ですが都度販売を行うので、金額、支払時期については未定で精算金のみの支払い

以上

ご質問・お問合せは下記まで
JA直鞍 営農センター
TEL 32-3755
担 当 稲垣、浦邊

⑥令和5年産米の出荷契約について

JA直鞍では、4～5月の出荷契約数量にて販売計画を作成し全農や取引先へ販売数量の交渉を行い、計画を基に概算金価格の設定をしています。令和4年産米については契約時期以降に追加の契約が発生しており、当初の計画よりも出荷数量が増えているのが現状です。計画数量と出荷数量の差が開きすぎますと追加の販売を行う必要があります、販売金額が安くなり全体の精算金に影響する恐れがありますので、5年産米については、出荷契約申請時期（4～5月）に契約を結んでいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 出荷契約時期 令和5年4月～5月まで
大農事組合長及び農事小組合長を通じて周知致します

以上

ご質問・お問合せは下記まで
JA直鞍 営農センター
TEL 32-3755
担 当 稲垣、浦邊

(2) 肥料価格高騰対策事業（春肥の申請）について

【試算表】

1、事業対象者

化学肥料の低減に向けて取り組みを行う農家で、当JAから購入された組合員・利用者の内販売見込みのある方が対象です。

2、春肥の対象となる期間

令和5年2月申請のため令和4年10月から令和5年1月末日に購入・予約注文された肥料です。

10月供給分（麦等）は秋肥（価格上昇率1.4）として申請させていただきます。

令和5年産水稻肥料は今回の大農事組合長会議にて注文頂いた分までを春肥の申請と致しますので令和5年1月10日までの注文をお願いします。

3、主な対象品目

麦、水稻、野菜、花き、果樹他です。

4、支援の金額

前年度から増加した肥料費の一部を国、県が支援します。

支援割合は国が70%・県が15%合計の85%です。

支援金額の試算表は別紙を参照ください。

5、対象参加要件

今後（令和5年度までに）化学肥料の低減に向けて取り組みが必要です。

化学肥料低減計画の各取組メニューの中から3つ（国2・県1）以上の取組が必要です。

化学肥料低減計画の各取組メニューは別紙を参照ください。

申請時に化学肥料低減計画の記入をお願いします。

6、事業内容説明会

春肥の申請内容の説明会を12月17日（土）に宮田支所で行います。回覧文章は別紙8Pの通りです。

7、申請の時期及び振込時期

申請時期は令和5年2月です。

支援金の振込（予定）は3月下旬です。

8、申請受付の周知方法

大農事組合長及び農事小組合長を通じて通知（2月上旬に発送予定）致します。

JA直轄HP又はグリーンセンター店頭にて掲示致します。

9、申請時に必要書類

当JAにて肥料の購入・予約注文された方は申請に係る資料は準備をしますが、現金で購入された方はJAで把握できない為領収書（明細のわかるもの）をご持参ください。

支援金の振込通帳（当JA分）をお願いします。

1. 主要肥料銘柄価格推移

単位：円

| 銘柄 | 予約価格 | |
|-----------|---------|---------|
| | 令和3年12月 | 令和4年12月 |
| ベスト化成444 | 1,670 | 3,520 |
| エムコート2000 | 3,360 | 4,960 |

2. 肥料価格高騰支援金計算式

$$\text{④支援金} = (\text{①肥料購入額} - \text{②肥料購入額} \div \text{価格上昇率} \div \text{使用量低減率}) \times \text{③0.85}$$

※価格上昇率＝秋肥1.4・春肥は未定 使用量低減率0.9

3. 肥料化価格高騰支援金試算例【令和4年12月の予約価格】

①肥料を100,000円購入

$$\text{④17,539円} = (\text{①100,000円} - \text{②100,000円} \div 1.4 \div 0.9) \times \text{③0.85}$$

②水稻肥料ベスト化成444を10袋購入【予約価格3,520円×10】

$$\text{④6,173円} = (\text{①35,200円} - \text{②35,200円} \div 1.4 \div 0.9) \times \text{③0.85}$$

③水稻肥料エムコート2000を10袋購入【予約価格4,960円×10】

$$\text{④8,699円} = (\text{①49,600円} - \text{②49,600円} \div 1.4 \div 0.9) \times \text{③0.85}$$

※小数点以下切り捨て

化学肥料低減計画書

| | | |
|------|------|----|
| 秋用肥料 | 春用肥料 | 年間 |
| | ○ | |

注: 該当するものに○を付けること

作付概要

| 作物名 | 作付面積 (ha) |
|--------|-----------|
| 水稻 | 1.0 |
| ブロッコリー | 0.5 |
| 計 | 1.5 |

氏名(法人・組織名) 直鞍 太郎
 住所 福岡県直方市知古二丁目3番4号
 電話番号 0949-24-2311

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが3つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

| 取組メニュー | 前年度までの取組 | 令和4年度又は令和5年度の取組 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------|
| ア 土壌診断による施肥設計 | ○ | ◎ |
| イ 生育診断による施肥設計 | ○ | ○ |
| ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入 | | |
| エ 堆肥の利用 | | |
| オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等) | | |
| カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外) | | |
| キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用 | | |
| ク 緑肥作物の利用 | | |
| ケ 肥料施用量の少ない品種の利用 | | |
| コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用 | | |
| サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む) | | |
| シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用 | | |
| ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用 | | |
| セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。) | | |
| ソ 地域特認技術の利用 1. 稲わら等有機物のすき込み 2. 石灰等の土壌酸度矯正資材の投入 3. ゼオライト等の土壌改良剤の投入 4. 緩効性肥料の投入 (1~4の中から一つ選択) | ○ | ○ |
| タ () | | |

記入例

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

市町村独自の上乗せ支援がある場合、個人情報の提供に同意します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 直鞍 太郎

(注)

化学肥料低減計画書

(水稻・麦)

| 取組メニュー | 具体策 | |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------|
| ア 土壌診断による施肥設計 | JAで場所を選定し土壌分析を行う。栽培暦に従い施肥を行う | |
| イ 生育診断による施肥設計 | 栽培暦や指導会を参考にした施肥の実施(提出⇒ 栽培の記録簿など) | |
| ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入 | | |
| エ 堆肥の利用 | 牛糞・鶏糞などの堆肥の利用(提出⇒ 購入の場合は購入明細、購入でない場合は使用した堆肥の現物写真) | |
| オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等) | | |
| カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外) | | |
| キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用 | | |
| ク 緑肥作物の利用 | レンゲなどの播種(提出⇒ 種子の購入明細) | |
| ケ 肥料施用量の少ない品種の利用 | | |
| コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用 | | |
| サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む) | | |
| シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用 | 田植機の側条施肥機付きが対象(提出⇒ 機械の写真) 麦の場合はうね立て同時施肥機が対象(提出⇒ 機械の写真) | |
| ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用 | | |
| セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。) | | |
| ソ 地域特認技術の利用 | 1. 稲わら等有機物のすき込み | 稲わら・モミガラなどのすきこみ(提出⇒ すきこみ前・後の圃場の写真) |
| | 2. 石灰等の土壌酸度矯正資材の投入 | |
| | 3. ゼオライト等の土壌改良剤の投入 | ミネラルGなど土壌改良剤の使用(提出⇒ 購入明細) |
| | 4. 緩効性肥料の投入 | エムコートなど一発肥料等の投入(提出⇒ 購入明細) |

回覧

令和4年12月6日
直鞍農業協同組合
代表理事組合長 堀 勝彦

大農事組合長
農事小組合長 各位

肥料価格高騰対策事業（春肥）の説明会開催案内について

師走の候、貴殿におかれましては、益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。
さて、みだしの通り、肥料価格の高騰に伴い農家経営が一段と厳しい状況にあります。その影響を緩和するために肥料価格高騰対策事業（春肥）の説明会を、下記の通り開催いたします。
つきましては、大変お忙しい事と存じますが、農家の皆様へ回覧して頂き、お誘い合わせの上ご出席を賜りますようご案内申し上げます。

記

| 開催日 | 時間 | 対象地区 | 開催場所 |
|-----------|----------|------|------|
| 12月17日（土） | 午前10時00分 | 全地区 | 宮田支所 |
| | 午後1時00分 | | |

以上

(3) 令和5年米産について

①令和5年度 JA直鞍の喜ばれる米づくり運動方針

1. 目的

近年、人口の減少や生活様式の変化等の影響により、米の消費が減少傾向にあり、産地間競争はさらに厳しくなっている。更に、令和2年から続く新型コロナウイルスの影響により外食需要が落ち、米を含む食料の消費量も全体的に落ち込み、買取価格の下落に拍車をかけている。

このような状況を踏まえ、米価格の下落に対応するには、土づくりおよび水管理、病害虫防除などを的確に行い、反収の引き上げを目指す事が重要になる。また、減少する需要者を引き留めるには、栽培管理による品質の向上に取り組み、直鞍地域の米に対する付加価値を与えることが重要であると考えられる。以上を踏まえ、生産者と一体になって展開していくため、下記の重点項目を遵守する。

2. 重点項目

- ①種子更新 100%
- ②品質の向上 1等米比率70%以上
- ③田植日 6月10日以降(高温障害対策)
- ④玄米水分 目標 14.5%
- ⑤ふるい目 1.85mm以上
- ⑥全量集荷の推進 目標 40,000俵
- ⑦生産履歴(100%提出) 全生産者への記帳の徹底(常時開示可能)

3. 重点方針

1) おいしい米づくり

- ①適地適作を基本とした県育成良食味品種の生産推進
- ②実需者の需要に応じた作付誘導の推進
- ③食味分析の活用とそれに基づく栽培指導の徹底(玄米タンパク質含有率6.8%以下)
- ④県育成高温耐性品種の導入検討

2) 安全・安心な米づくり

- ①生産履歴の全生産者による記帳と情報提供
- ②適期防除による農薬使用回数の低減
- ③農薬の飛散防止(ドリフト)
- ④残留農薬検査の実施

3) 品質向上と作柄安定

- ①高温耐性品種の作付による収量・品質の向上
- ②適期移植や適正施肥による高温障害の回避
- ③いもち病、ウンカ類等病害虫に対する持続効果の高い箱施薬の使用

4) JA米の要件

- ①品種が確認できた種子により生産した米穀
- ②登録検査機関で農産物検査を受検した米穀
- ③生産基準に基づき栽培され、栽培履歴記帳を確認した米穀

②令和5年産 水稻品種別作付誘導方針

1. 極早生品種

【コシヒカリ】

直鞍米及び減減米の契約栽培として、直売所で有利販売して行く上で重要な品種であり、地域で団地化を行う。

【夢つくし】

直鞍で最も多く作付されている良食味で、消費者の評価も高い品種であるが、いもち病に弱いため栽培技術の徹底を行い適期防除に努める。

また、極端な早植えは品質(心白等)・食味が低下する恐れがあるので、早期栽培や早植えは抑制する。

2. 早生品種

【元気つくし】

良食味品種であり、登熟期間中の高温条件下でも品質低下が少ない。田植は、6月中旬以降とし、いもち病にも弱いため適期防除を行い、ブランドの定着を図り、需要に応じた作付けを行う。

3. 中生品種

【ヒノヒカリ】

平坦地での移植時期は登熟期の高温障害対策のため、6月中旬以降の田植とし、土壌の肥沃度に応じて適切な施肥を行う。

【実りつくし】

ヒノヒカリよりも良食味品種で、登熟期間中の高温条件下でも品質低下が少なく、安定多収栽培技術の確立に努める。しかし、いもち病に弱く、成熟期もヒノヒカリより7日~10日程度遅い。

[JA直鞍 水稻品種別作付誘導目標]

(単位/ha)

| 年度 品種名 | 令和3年度 実績 | 令和4年度 実績 | 令和5年度 誘導 | 令和6年度 計画 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| コシヒカリ | 6 | 6 | 4 | 4 |
| 夢つくし | 1,346 | 1,368 | 1,350 | 1,350 |
| 元気つくし | 233 | 233 | 250 | 260 |
| ヒノヒカリ | 265 | 234 | 245 | 250 |
| 実りつくし | 14 | 15 | 15 | 20 |
| 他品種 | 51 | 48 | 40 | 20 |
| モチ | 20 | 19 | 19 | 19 |
| 合計 | 1,935 | 1,923 | 1,923 | 1,923 |

(上記表以外に、飼料用米・稲・米粉・醸造用米で174ha作付けあり)

(※作付面積は、農業共済のデータを参照)

③令和5年産 稲作ごよみの変更点について

水稻除草剤の、初中期一発剤2品目と中・後期除草剤1品目を新たに採用致しております。

また、水稻除草剤は、同じ剤を長く使うと抵抗性を持つ雑草が発生し、効果が薄れてくることがあるため、3～4年で新しい剤に変え採用しております。

新しい剤については、管内で試験を行い、結果の良いものを選んで、稲作ごよみに採用致しております。

1. 初・中期一発処理用除草剤

【旧 剤】

エンペラー1キロ剤
キラリ1キロ剤



【新規採用剤】

ラオウ1キロ剤
デオーレ1キロ剤

(粒剤・ジャンボ剤・フロアブル剤対応)

※ 2剤とも田植同時施用が可能です。

ラオウ剤



移植直後～8日、ノビエ2.5葉期まで
3成分が自社原体のため価格も安く、薬害軽減剤の
ダイムロンが入っているため、水稻の安全性が期
待できます。

デオーレ剤



移植直後～10日、ノビエ3.0葉期まで
多年生雑草の塊茎類(ウリカワ・クログワイ・オモ
ダカ・コウキヤガラ等)、SU抵抗性雑草にも強い。

2. 中・後期除草剤

【新規採用剤】

アレイルSC

クリンチャーバスMEと並列に、アレイルSCを採用、ノビエ5葉期まで
キシウズズメノビエ・アゼナには効果が劣りますが、多年生雑草の塊茎類
(ウリカワ・クログワイ・オモダカ・コウキヤガラ等)やマメ科のクサネムにも
効果が高い。また、湛水のままでも散布可能で、散布1時間後に雨が降っても
効果を発揮します。また、茎葉は当然のこと、田面や水面に落ちた成分が、根か
らも吸収して雑草を枯らしめます。

(4)「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について

いつもアグリ土づくりセンターの牛ふん堆肥をご利用いただきありがとうございます。

さて、JA直鞍では地力低下に伴い水稲、麦、大豆など土地利用型作物の収量が低下していることから、収量の安定をはかるため堆肥や土壌改良材を投入する事を奨めています。

JA直鞍の「アグリ土づくりセンター」が製造する「堆肥」は良質な堆肥として管内・管外からも評価をいただいております。

土壌という大切な資産を守るには、やはり土作りが基本です。

土作りは、良質な有機質の投入が欠かせません。

是非、みなさまにアグリ土づくりセンターの堆肥をご活用下さい。

そして、土作りを基本とした農業を実践して下さい。

「健全な土壌には健全な作物が育つ」

「アグリ土づくりセンター」は、堆肥による土作りを通して、みなさまの大切な資産である土壌の健康づくりをお手伝いいたします。

又、このアグリ土づくりセンターでは新しいパンフレットを作成しております。

- ①アグリ土づくりセンターが指すもの
- ②利用者の声
- ③堆肥の製造工程図
- ④価格一覧表等を掲載しておりますのでご覧下さい。

堆肥のご注文に関しては直接「アグリ土づくりセンター」または各グリーンセンターに申込書を準備しておりますので宜しくお願いします。

アグリ土づくりセンター 電話番号 43-1175
住所 鞍手町室木189番地1

●堆肥価格一覧表

基準日:令和3年11月1日

| 種類 | 区分 | 容量 | 価格(税込) | 備考 |
|-------|-------|----------------|------------------|----|
| 水田用堆肥 | 直取り | 1トン | 3,500円 | |
| | | 軽トラ | 1,000円 | |
| | 配達のみ | 2トン | 8,000円 | |
| | 配達・散布 | 1ha以上 3ha以上 | 9,500円 9,000円 | |
| 園芸用堆肥 | 直取り | 1.8㎡ | 5,000円 | |
| | 配達 | 3.6㎡ | 12,000円 | |

●施肥基準量一覧表 (10a当たり)

| 品目 | 堆肥量 |
|--------|-----|
| 水稲 | 2トン |
| 大麦・小麦 | 2トン |
| 大豆 | 2トン |
| ブロッコリー | 2トン |
| キャベツ | 4トン |
| ぶどう | 1トン |

●堆肥分析検査データ

一般財団法人畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所

分析日:令和3年3月15日

| 分析項目 | 水分 | (pH) | EC(ms/cm) | 窒素(%) | リン酸(%) | 加里(%) | 石灰(%) | 苦土(%) | 銅(mg/kg) | 亜鉛(mg/kg) | 鉄(mg/kg) | マンガン(mg/kg) |
|------|-------|------|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|----------|-----------|----------|-------------|
| 現物当り | 54.3% | 7.8 | 3.8 | | | | | | 19 | 63 | | |
| 乾物当り | | | | 1.9 | 0.9 | 2.6 | 2.9 | 0.9 | | | 8,800 | 340 |

JA直鞍 アグリ土づくりセンター

〒807-1307 福岡県鞍手郡
鞍手町大字室木189-1番地
TEL0949-43-1175
FAX0949-43-1176



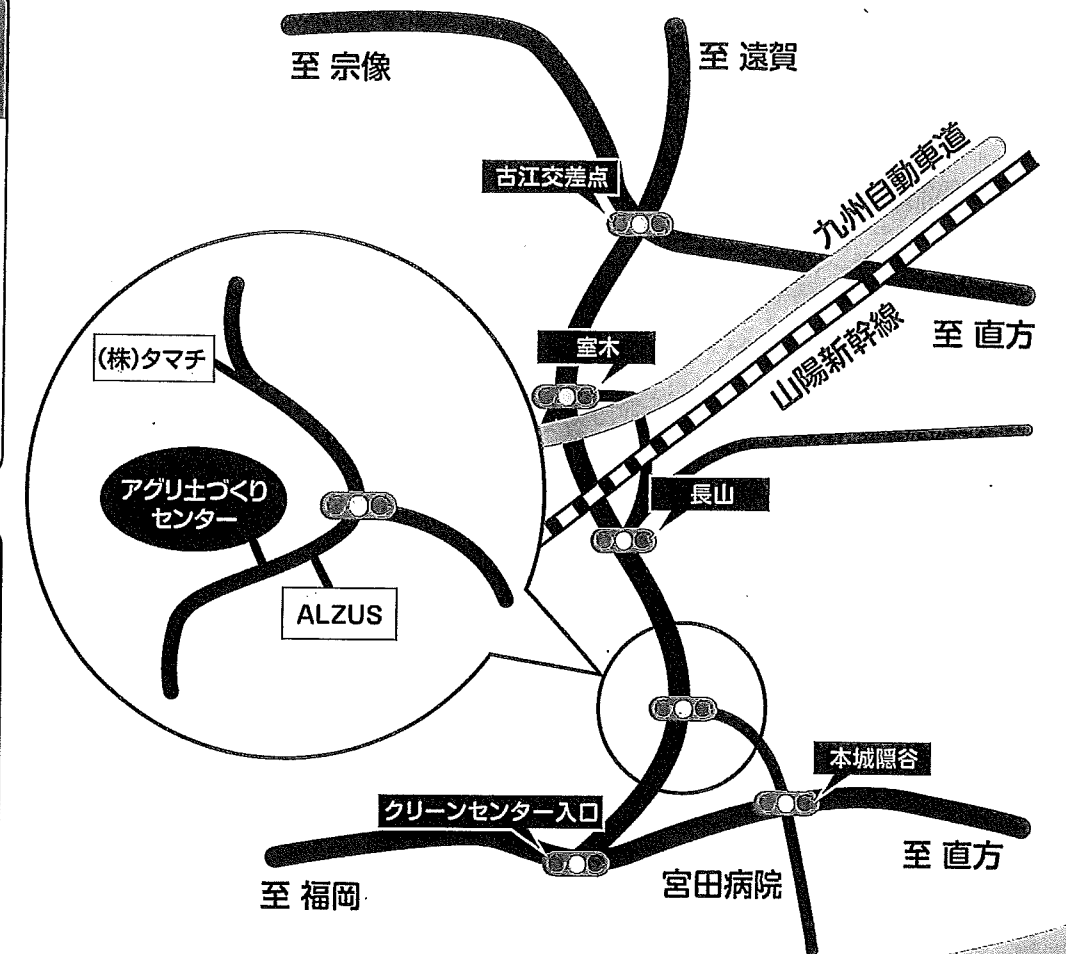
地図はコチラから
ご確認ください

直鞍農業協同組合

〒822-0022 福岡県直方市
知古二丁目3番4号
TEL0949-24-2311
FAX0949-24-2315



地図はコチラから
ご確認ください



ごあいさつ

JA直鞍は、筑豊北部に位置する直方市・宮若市・鞍手町・小竹町の2市2町を管内としており、北九州、遠賀、宗像、飯塚と隣接する都市近郊型農業地帯で、水稲は県下でも良質米の産地となっております。

主要農作物は、水稲・麦・大豆・ブドウ・いちご・キャベツ・ブロッコリー・トルコギキョウ・畜産と多種多様であり、共同出荷の他、管内に6箇所ある農産物直売所施設で販売しています。

農産物の生産において、近年、化学肥料の多用や災害の多発に伴う耕作地の土壌流失などにより、良質な土壌が失われつつあります。

そのような中、農産物の安定した生産力を持続していくには、有機質肥料は欠かせないものとなっています。

「JA直鞍アグリ土づくりセンター」は、管内の畜産農家の飼育糞を副資材（パークもみ殻）を70℃以上に上昇させ発酵処理を行うと共に腐熟させ、高品質の堆肥として活用し、農産物の生産基盤である「土づくり」を推進しております。

それにより、利用者の皆さまからも堆肥の品質や評判が伝わり、近隣市町村の利用者も増加し大変よこばれております。

今後も農業者の皆さまには生産の安定化、品質の向上による所得増大を、消費者の皆さまには「安全・安心」な農産物の安定供給を目指します。

これからも「JA直鞍アグリ土づくりセンター」は関係機関と連携しながら、「土づくり」を通じた地域農業の発展に貢献してまいります。



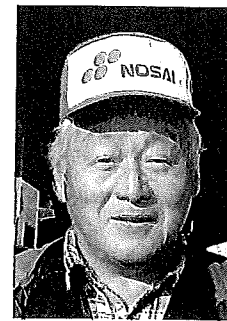
直鞍農業協同組合
代表理事組合長 堀 勝彦

JA直鞍アグリ土づくりセンターが目指すもの

- JA直鞍アグリ土づくりセンターは、管内の畜産農家の飼育糞を堆肥化し、農地に還元する資源循環型農業の推進を通じて、持続的な開発目標（SDGs）を支援してまいります。
- 地域ぐるみの「土づくり」を推進します。
- 腐熟度の高い良質な堆肥の安定供給に努めます。
- 土壌改良効果を発揮するため、利用者へ堆肥の長期連用を推進します。
- 良質な土づくり・作物生産のための肥料設計をしやすいよう、成分の安定化に努めます。
- 低コスト生産を支援するため、価格の低減につとめます。
- 高品質で高収量の農業生産、農業者の所得増大の糧となるような堆肥づくりを目指します。

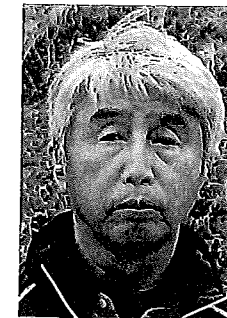


利用者の声



米麦を栽培しています。水田に毎年2トン自分で散布しております。地力が向上し米麦とも毎年安定して収量を上げることができ地力の大切さを実感しています。

小竹町 木原 剛さん



キャベツ、トウモロコシを主に栽培している。堆肥を毎年10a当たり4トン投入し続けているため土壌の団粒化が進み、土に空気の間隙ができることで、柔らかい土に、作物はしっかり根を張り、品質の良い野菜が採れる。

北九州市若松区 松浦 浩さん

堆肥製造工程

堆肥がどのように作られているかをご紹介します。

JA直鞍アグリ土づくりセンターは、平成17年に完成した牛糞堆肥を作る施設です。平成21年には福岡県の堆肥コンクールで最優秀賞を受賞致しました。

原料置場



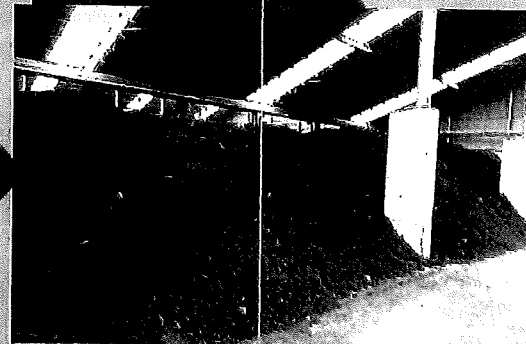
①牛ふんに副資材（木材チップ）を混ぜ、水分調整を行います。

一次発酵槽



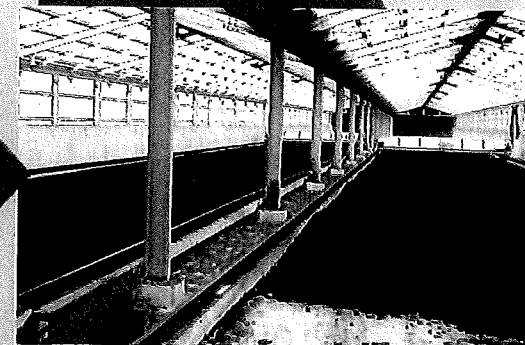
①牛ふんに酵素、アミノ酸を混合し、更に床下からエアを吹き込むことで、堆肥の温度を70～80℃まで上昇させ、高温による発酵促進を実現しています。
②高温発酵により、雑草の種子や悪玉微生物を抑制させ、土壌環境を整えます。

二次発酵槽



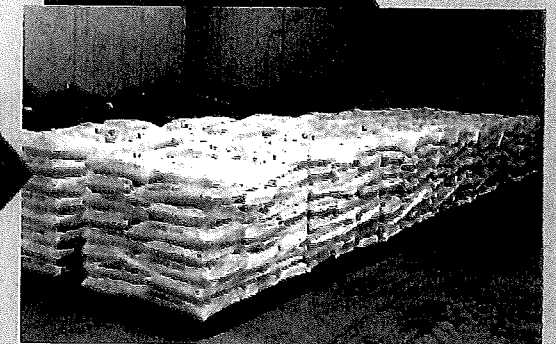
①一次発酵槽より搬入された堆肥を約3ヶ月かけて更に発酵させます。
②水田用堆肥として出荷します。（水分60%以下）

天日乾燥施設



①二次発酵させた堆肥を更に天日乾燥と「ロータリー攪拌機」の切り返しにより、水分を40%以下まで乾燥させます。

製品置場



①天日乾燥させた堆肥を「ふるい機」にかけ最終調整し、園芸用堆肥を製造します。

真光争記・大坂田紙
 日本農業新聞
 〒110-8722 東京都台東区秋葉原2-3
 https://www.agrinfo.co.jp/



食・農業・農村分野ならどこよりも 詳しい、早い、深いメディアへ!

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
 〒110-8722 東京都台東区秋葉原2-3
 https://www.agrinfo.co.jp/

「農業者の目線」「主要農産物の情報強化」「暮らしに密着した農村社会情報」の観点で、紙面を充実させます。

新紙面

担い手面

生産基盤強化という今日的な課題に対し、新たな面を設けて情報を拡充します。農業現場の課題と改善策を深掘りする「農業者の目線に立った課題解決型の情報」を提供します。

生活・社会面

記事下広告のない、迫力ある全面編集紙面です。地方発のヒト、モノ、トリクミの新しい動きを追い、地方創生、田園回帰、半農半Xなどの地方活性化や、脱炭素・温暖化などの環境問題も、独自の視点で取り上げます。暮らしの実利・実益情報や農村文化も紹介します。

産地戦略面

収穫シーズンの主要農産物を1品目取り上げ、川上(生産)から川下(販売)までの情報を掲載します。生産サイドがどう売り込もうとしているか。需要サイドのニーズがどこにあるのか。販売戦略づくりに役立つ情報を届けます。

\\ 新企画 //

農家の人事情報

(全国版、ブロック版に随時掲載)

生産組織の代表者や、JAの生産部会長などの人事情報を拡充します。

調査報道の強化

約1,000人の本紙農政モニターが協力する調査に加えて、政府への情報開示請求やJAモニター制度、インターネットを活用したアンケートなどを強化します。その時々農政課題について、迅速に農業者の意識を定量報道できる仕組みを整え、「現場からの調査報道」を展開します。

伝えたいことがある。

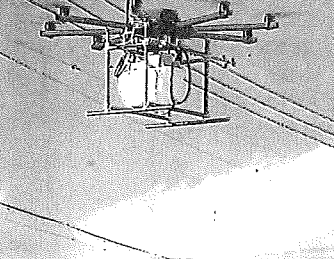
日本農業新聞は長きに渡り、
 確かな情報を届分けてきました。
 これからも農業の現場に寄り添う情報をお届けします。

農業の“今”を伝えて95年。

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞



食品小売り混乱
 供給網万全
 事態宣言 農産物の在庫十分



米国产牛肉の輸入停止
 初のBSEの疑い
 全頭検査を要
 政府国内流通は



鳥インフル対策強化を
 防衛網の強度
 侵入阻止 消毒徹底



WEBから申込

電子版のお申し込みはWEBが簡単!

お申し込みの際は、
 紹介JAの登録をお願いします。
 本紙申し込みも可能です。

<https://www.agrinfo.co.jp/page/subscribe2>



電子版の
 機能や使い方はこちら

<https://www.agrinfo.co.jp/infopage/lp/index.html>



| | |
|---------------------|--------|
| 購読料1カ月(税込) | |
| 本紙 | 2,623円 |
| 令和4年8月からの新価格 | |
| 電子版 | 2,403円 |
| ※7月までは2,623円(税込)です。 | |

JAに申込

ご記入の上、お近くのJAにお渡しください。

日本農業新聞 購読申込書

年 月から購読します。

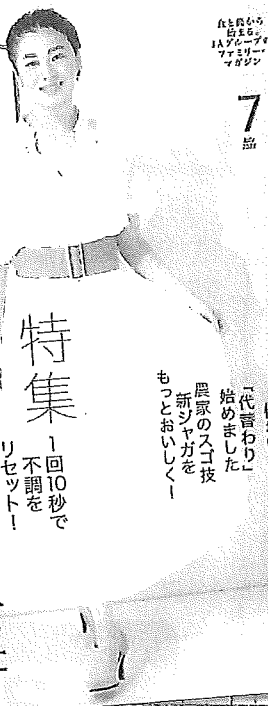
| | |
|------------|-------------|
| フリガナ 氏名 | フリガナ 世帯主 |
| フリガナ 住所 | |
| 電話番号 | 取扱い JA名 |
| 備考 | 支店・支所 |

ご希望の媒体に✓を入れてください。 新聞本紙 電子版 ※電子版をご希望の方は、JAの案内に沿って手続きください。

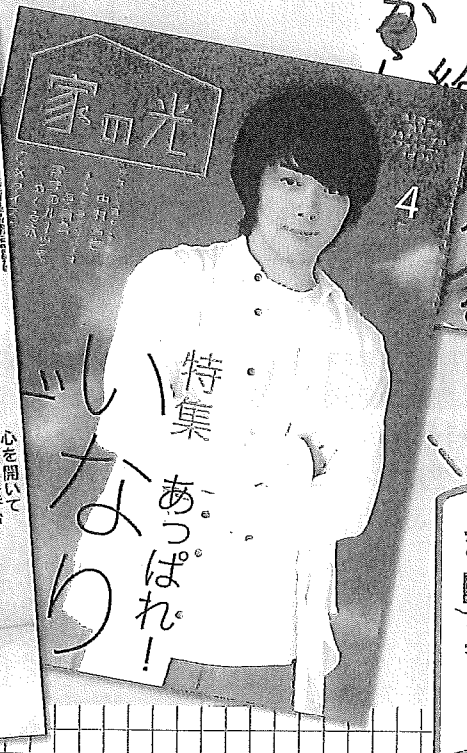
“lenohikari” 家の光 ガイド

“lenohikari”
家の光 をご紹介します!

“lenohikari”
家の光



特集 1回10秒で
リセット！
ねこ背改善
ストレッチ



特集 あっぱれ！
しなより



特集 おひついで
かきあげ

まずはページを開いて、
目次を見てみてください。
興味を引かれる記事が
いくつか
見つかるはずです。

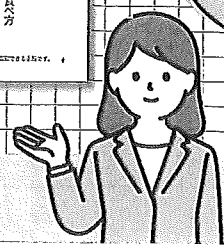
料理、手芸、
健康、生活に
関することなど
すぐに“活用”できる
情報がいっぱい

年6回
多彩なテーマの
別冊付録が
ついてくる



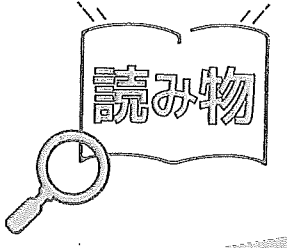
家族全員で
読める
楽しい内容

季節や時事に
合わせた
テーマ設定

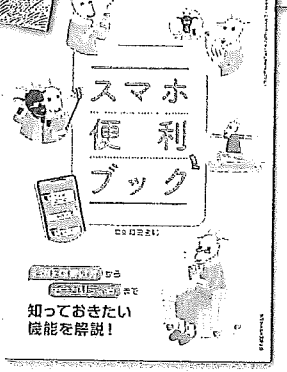
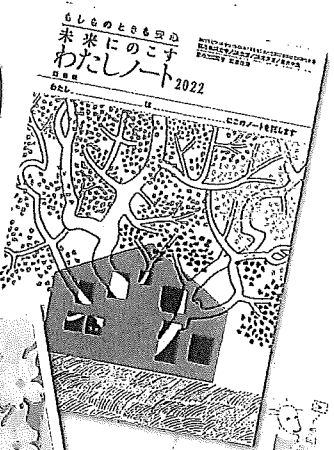


ぜひお手にとってご覧ください!

JAグループ 家の光協会



多彩なテーマで、ずっと保存しておきたい充実の内容



“lenohikari” 家の光

食と農から始まる。JAグループのファミリー・マガジン
定価(税込) ●普通月号 629円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
●家計簿付き12月号 1,027円

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ